カタールにおける問題点と要望

	区分	経由団体※	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
12	為替管理	日機輸	(1)	外貨送金の遅延	・USD数十万ドル程度以上の外貨送金に遅延が発生することがある。 （変更）	・カタール国財務大臣から市中銀行に対し、外貨送金を遅滞なく行うよう指示いただきたい。	
14	税制	日機輸	(1)	税務申告の査定書、納税証明書発行の遅延	・Income Tax Lawに基づき、客先よりリテンションの支払いについてカタール税務当局が発行する納税証明書の提出が要求されるが、当該証明書の発行に非常に時間がかかる。 2014年9月末に税務申告の電子化移行が発表されたが、当該システムが軌道に乗るまでは相当の時間を要するものと思われ、納税証明書の発行については、当面、更なる遅延が予想される事態となっている。 （継続）	・税務当局が当該税務申告の電子化を早期に制度として定着させ、査定業務の一層の迅速化を図り、バック・ログの大幅削減を速やかに実現するよう強く希望する。	・Qatar Tax Law (No. 24 of 2018)
		日機輸			・税務申告の査定書発行までに長時間を要する上、査定が税法に照らし許容し難い内容であるため、当該査定に対し異議ならびに不服申立てを行うことで申告内容の正当性を争わざるを得ず、不要な経済的負担を強いられる事例が散見される。 （継続）	・税法に即した査定書の発行が遅滞なくなされるよう強く希望する。	・Qatar Tax Law (No. 24 of 2018)
16	雇用	日機輸	(1)	ビザ申請の不合理	・インダストリアルシティ（ラスラファン、メサイードなど）を訪問する際のBusiness Visaの申請は、受け入れ側の政府系企業に依頼して行う必要があり手間がかかる。以前は、訪問する側でも申請できていたが、Covid-19の影響か何かで、それができなくなったと聞いている。	・以前のように、訪問する側で申請可能なように、見直しを働きかけて頂きたい。	
		日機輸	(2)	労働許可証取得のためのBlock Visa発給の遅延、厳格	・工事事務所において複数年単位で申請が求められるBlock Visaの発給要件が厳格化の傾向にあり、案件発注者の支援状を以てしても発給に多大なる時間を要する事例が散見される。 （変更）	・契約済案件の雇用に係るBlock Visaについてはその発給が案件発注者等の特段の支援なしに遅滞なく行われるよう強く希望する。	・Qatar Labour Law (No.14 of 2004) & Amendments ・Qatar Immigration Law (No. 21 of 2015)
		日機輸			・商取引を行わないリエゾンオフィスにおいてもここ数年Work VISA枠（Block Visa）の発給が滞り、VISA発給に時間を要する傾向がある。 （継続）	・少なくとも学士の学位(Bachelor's degree)を持つ職員にはWork VISA枠を適時発給していただきたい。	・Qatar Labour Law (No.14 of 2004) & Amendments ・Qatar Immigration Law (No. 21 of 2015)

※経由団体：各個社の意見がどの団体を経由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。